

手をつなぐ
鹿島育成園だより
 夢を語り夢をかなえる

編集者 高橋 英一

法人本部・生活支援センター
 〒314-0016
 茨城県鹿嶋市国末1539-1
 TEL 0299(82)6464
 FAX 0299(83)3261

鹿島育成園 (児童寮及び育成寮)
 〒311-2401
 茨城県潮来市大賀438-4
 TEL 0299(66)3439(代)
 FAX 0299(66)3431

<http://www.kashima-ikuseien.com/>
 mail:kaikusei@eagle.ocn.ne.jp

定価 100円



安心はできませんが、コロナに対してはむやみに怖がるのではなく謙虚に恐れつつ、分かってきたことを生かして何が出来るか、利用者さんが楽しみにしていた面会、土日の買い物、外出等今までのあたりまえがどうしたら安心して出来るかを考えていかななくてはと思います。九月末と十月初めにこじんまりとレクリエーションを行いました。男性は歩いて十五分の北浦で釣り、女性は車で十分の県民の森でのお楽しみ会。得も言えぬ開放感の中で食べたお弁当。帰ってきた利用者さんは「楽しかった!」と、たくさんの〇が詰まった一言に聞こえました。

育成寮 施設長 鈴木 はつ子
 この原稿を依頼された時コロナの感染者数は(茨城で)百人台が続く、制限の多い中で感染対策等で気持ちは沈んでいました。清書している今は二桁になり昨日は十六人でした。感染者数の多い少いだけでも気持ちのありようが違う事を身をもって感じているところです。

令和三年度
 前半を振り返って



研修報告

障害者就業・生活支援センター

就業支援担当 寺崎 有紀

10月13日仙台市内にて金野公一先生による勉強会に参加し、それぞれの部署から利用者さんへ支援していく中での困難事例を持ち寄り、解決策や注意点についてご教授頂きました。

全部署困難事例の中には、必ずと言っていいほど利用者さんの特異行動に対する原因の発見と対応が難しいという事例が多く、金野先生よりまず初めに行動起因を見つける大切さを学ばせて頂きました。

特異行動においてその場の理由なき突発的な行動と見えても、その前後には必ず問題行動へと至る起因があり、本人の体調、取り巻く環境や天候に至るまでを事細かく観察し起因を発見する事こそが、問題解決支援への基礎となる事の事でした。

そして観察から掴んだ起因が、人間関係や環境であれば環境を

変え、減らしながら無くしていく事により問題行動を未然に防ぎ解決されると学びました。

加え起因解決へ本人にアプローチする際も、多数の人間がそれぞれの指示を出すのでは無く、徹底された指示系統の統一を図ると共に、本人にとつての重要人物(尊敬する人物や信頼関係が構築されている人物)を見つけて出し、重要人物から話をする事で効果的に言葉を伝える支援方法の確立も重要と言えます。

この観察において我々障害者就業・生活支援センターまっぼつくりの登録者の方々は一般企業へ就職している方が多く、毎日近くで見ているのは我々ではなく事業主や同僚の方々です。

我々の目からワンクッションある状態から、登録者の方の情報を実に取得する為にも、雇用主と同僚の方との情報共有の在り方を今一度考え、より明確に細かく質の良いものへと変えていくべきだと強く感じた勉強会でした。

個別支援計画から

児童寮 主任 小泉 惇

通院の際、その子の近況を引率職員が医師へ報告する機会が多いのですが、「〇〇(行動)があり、困っています。」と伝えるのか、「こういった状況でこういう行動がありました。」と伝えるのかで、適切な診断をされない可能性が高まります。これは、カール・ロジャーズ氏が提唱された傾聴の三原則の「無条件の肯定的関心/相手の話を善悪の評価や好き嫌いの評価をせずに聴くこと。」に類似する内容で、報告に主観が入っているのか、入っていないかの違いだと思います。支援するうえで「〇〇かもしれない。」という予測は必要だと思いますが、その予測を「〇〇だ。」と主観を混同して決めつけてしまうのではなく、客観的に(思いやりを持って)予測し、主観的に(優しさを持って)支援していく必要があるのではないかと思います。

児童寮で過ごしている子ども達の未来ではつきりしているのは、18歳(特別支援学校高等部卒業等)になると児童寮を離れ、新たな環境で社会と関わっていくことです。その際、社会で孤立してしまわない立ち振る舞いが出るよう、沢山の失敗を経験していくことが児童寮で過ごす意義の一つであると思います。私たちは、子ども達と日々向かい合う中で、卒園までに何が出るかを客観的に逆算し、一人ひとりにどういった支援が必要なのかを予測しなければなりません。そのため、その子の小さな変化を見逃さず気がつき、成長に繋げることが、私たちにとっての責務だと思います。



防犯防災係から

育成寮 生活支援員 林 東雪

成人寮、児童寮合同で月一回、年間十二回の避難救護訓練を実施しております。

詳細は、地震発生時に慌てず落ち着いて避難行動(一次避難、二次避難)が取れるようにする為の地震避難訓練。夜間等職員数の少ない時に、自力での避難が困難な利用者さんの把握と安全に確実に避難させるための手順の確認、危険箇所や問題の洗い出しの為の夜間訓練。消防署員の協力のもと行われる総合訓練(年二回)などです。



グループホーム便り



主任 貝塚 卓弥

グループホームでも利用者さんの誕生月には各ホームでお祝いしています。お祝いは、誕生者の要望に添った形で実施しており、ホームの利用者さん全員で祝うこともあれば、ケーキだけ食べられれば良いという利用者さんもいます。中にはケーキが苦手な方もいるので、ピザやケンタッキーでお祝いすることもあります。以前は、各ホームで外食をすることもあったのですが、近年はコロナの影響でホーム内での祝いになっていきます。緊急事態宣言は解除されましたが、これでよしとするのではなく、緊張感を持って徐々に以前のような活動が出来ればと考えております。



多機能型事業所 アイリス

就労移行支援 若月 美咲

十月二日土曜日にお楽しみ交流会をしました。特に一番楽しかったことは映画かんしよう「劇場版鬼滅の刃無限列車編」です。最初から最後までみて号泣しました。午後は、みんなで紙飛行機大会をして景品をもらってとても楽しかった思い出になりました。昼にちゅうぼうのごうかなお弁当とメルヴェイユのケーキを食べました。私は、文章を書くのがにがてなので、さいごまでかくことができたのがうれしくなり、一番思い出です。



秋の味覚

今日の一品

育成寮 生活支援員 細根 由佳

私は吞兵衛なので、良い食材を手に入れた時は、さてどんなつまみにしようかとワクワクします。

肉厚で形の良い椎茸の軸をまづグリツと戻り切り、傘の部分をひっくり返し昆布醤油を数滴垂らし、マヨネーズをぐるりと乗せ、彩りに万能葱を散しオーブントースターで五分程焼きます。少し水分が出ていれば食べ頃。レモンと七味を掛けて頂きます。スープ、麦酒が進みますなあ。



育成寮 椎茸



